

平成29年度 教育学部プロジェクト推進支援事業 中間発表会

主催：岩手大学教育学部
共催：附属学校運営会議

日時 平成29年12月22日(金) 12:55～18:00

場所 総合教育研究棟(教育系)北桐ホール

県内学校教員、大学院生の参加を歓迎します

【プログラム】

学部長挨拶 12:55～

各プロジェクト報告 13:00～

(プロジェクト名)

(発表者)

- | | | |
|--------|--|------------|
| 13:00～ | 「学校气象台」データを科学技術教育に活用するための教材開発と普及
- 学部と附属小・中学校関連教科との連携を通して - | 名越利幸 |
| 13:14～ | 中学校理科・数学科におけるアクティブ・ラーニングの開発と評価(理科編)
- メタ認知的支援を組み込んだ授業設計 - | 久坂哲也 |
| 13:31～ | 中学校理科・数学科におけるアクティブ・ラーニングの開発と評価(算数・数学編)
- Sphero SPRKを活用したアクティブ・ラーニングの授業設計 - | 中村好則 |
| 13:48～ | 幼・小・中一貫した数学的活動を通じたカリキュラム開発に関する研究 | 山崎浩二 |
| 14:02～ | 小中学校理科における物質学習の実践的研究 | 菊地洋一 |
| 14:19～ | 小学校家庭科におけるマインドフルネスの視点を入れた味覚教育の検討
- 「だし」の学習教材を中心に - | 渡瀬典子 |
| 14:33～ | 震災復興をテーマにした教科横断的な授業の提案
- 新聞を生きた教材としたNIEの実践を目指して - | 七木田俊 |
| 14:47～ | 法学的視点を醸成させる授業案とは
- 公民科で想定される法教育・主権者教育 | 菊地洋 |
| 15:01～ | 縄跳び運動を用いた児童の体力作りに関する研究 | 清水茂幸 |
| 15:15～ | 附属学校を活用した小規模・複式指導の教育実習プログラム開発
- 事前指導段階に必要とされる理論知の明確化 - | 清水将 |
| 15:29～ | 子ども主体の授業づくりでの一人ひとりへの目標及び支援の最適化に関する研究 | 名古屋恒彦・星野英樹 |
| 15:43～ | 小学校外国語活動におけるモジュール型指導の充実 | ホール ジェームズ |
| 16:03～ | 小学校におけるプログラミング教育の授業に関する事例的研究 | 松村毅 |
| 16:17～ | 小中の接続を意識したマット運動の単元開発 | 菅原純也 |
| 16:31～ | 心と体の発達を考慮した小・中連携の発声と合唱指導に関する研究 | 小川暁美 |
| 16:45～ | 生徒の主体的な参加を促す「考え、議論する」道徳教育プログラムの開発 | 宇佐美公生 |
| 16:59～ | 幼小接続教育の在り方の調査研究 - 生活科とのつながりの中で - | 高橋文字子 |
| 17:13～ | ユニバーサルデザイン化された支援内容の系統性についての探求
- 幼稚園における支援内容と小中学校における支援内容との縦断的関連 - | 佐々木全 |
| 17:30～ | 附属学校と公立・私立学校の実践研究に関する連携の開発
- 知的障害特別支援学校における研究テーマ「主体性」の協働的追求を通じて - | 東信之 |
| 17:47～ | 効果的なアクティブ・ラーニングを実践するための基礎力を育む就学前教育の体系化
- 附属幼稚園の実践分析と教諭へのインタビューを通して - | 池田泰子 |

講評 学校公開・共同研究専門委員会委員長 中村好則